

平成24年度大阪880万人訓練

訓練結果

Results of Osaka 8.8million drill '12

(公開用資料)

平成24年12月

大阪880万人訓練実行委員会事務局

Version 1.03

概要

大阪府初の取り組みとして、全府民880万人を対象とした防災訓練を平成24年9月5日に府内全域で一斉に実施した。

なお、訓練参加者については、ウェザーニュースアンケートにより調査した。また、訓練不参加者を含めた府民については、大阪府府政モニター（「おおさかQネット」）アンケートを中心にデータを補完した。

広報状況

- 大阪府及び府内各市町村で広報誌及びホームページに掲載
- 報道各社にニュース番組での取り上げを依頼
- 知事定例記者会見でのPR（8月15・22・29日）
- 各種業界団体事務局に対し、会員への周知を依頼
- 鉄道各社にポスター掲示・放送を依頼
- 各市町村・教育委員会にリーフレット約46万枚、ポスター約9千枚を配布
- 大阪府隣接府県に情報提供
- 道頓堀の雪印メグミルクネオンに3ヵ月間表示
- スーパー銭湯待合室モニターに3ヵ月間表示



事前浸透率

訓練直前に報道各社が大々的に取り上げたため、この訓練の事前浸透率は、「おおさかQネット」アンケートの回答者で81.9%であり、防災訓練としては空前の浸透率に達した。

広報媒体別にみると、事前予想ではテレビの効果が高いと思われていたが、ウェザーニュースアンケートの結果によると、各媒体様に事前浸透率の向上に寄与しており、幅広い媒体での広報が重要である事がわかった。

また、アンケート項目に想定していなかったツイッター・ブログの効果が高く、アンケート項目に想定していなかったため、口コミ・ホームページ・その他に分散して回答されたと推定され、合計すると最も効果が高かった可能性が高い。

訓練開始合図

訓練開始合図については、市町村の防災行政無線の屋外スピーカー・ラジオ放送・館内放送・携帯電話の緊急速報メールなどで実施した。

訓練開始合図の覚知率については、「おおさかQネット」アンケートでは47.8%となっており、半数近くの人に訓練開始情報が届いたことがわかった。なお、衛星市で行われた調査では、これより高い覚知率が示されている。

訓練開始を覚知した媒体をウェザーニュースアンケートでみると、携帯電話が34.0%と最も高く、次いで館内放送が26.0%となり、予想通り携帯電話の効果が確認されたと共に、館内放送の効果が意外に高い事がわかった。

事前訓練

事前訓練には、「おおさかQネット」アンケートの回答者では21.3%が参加しており、ここから府民全体（除く20歳未満層）の参加率を推計すると20.5%の府民が参加したと推計される。

事前訓練で、単に災害時の対応を考えるだけでなく具体的な行動として行われた活動をウェザーニュースアンケートでみると、1位は「まずは身を守る」の確認であったが、各項目に平均的にばらつき、個々の状況に応じた確認行動がとれていることがわかった。

当日訓練

当日訓練には、「おおさかQネット」アンケートの回答者では31.3%が参加しており、ここから府民全体（除く20歳未満層）の参加率を推計すると、30.1%、約264万人の府民が参加したと推計される。

当日訓練で行われた活動内容をウェザーニュースアンケートでみると、「考えてみた」が26.9%、次いで「身の安全を図った」が14.2%であり、よりやり易い活動の実施率が高いという当然の結果が確認された。



堺市立登美丘中学校で訓練に参加する松井知事



緊急速報メール発信操作



堺市議会での身を守る行動

連動訓練

連動訓練には、「おおさかQネット」アンケートの回答者では6.0%が参加しており、ここから府民全体（除く20歳未満層）の参加率を推計すると、6.3%の府民が参加したと推計される。

連動訓練で行われた訓練内容をウェザーニュースアンケートでみると、避難訓練が10.9%と最も高く、次いで情報伝達訓練が5.7%であった。



吹田市地域防災総合訓練で挨拶する小河副知事

社会の反響

9月5日から7日の間に大阪府にあった問い合わせは合計約1千件あり、その大半が訓練メールが届かない事についてであった。問い合わせの多かったものについて、ホームページ上で回答を実施した。

なぜメールが届かなかったのか

今回の訓練では、携帯電話会社各社の独自サービスである緊急速報メールの「災害・避難情報」機能を活用してメール発信を行いました。この機能はサービス開始から日が浅く、ドコモでは平成19年12月、au・ソフトバンクでは平成24年1月のサービス開始で、訓練前の推定で、対応率は約4割でした。なお、緊急速報メールは、eメール等とは違い、個々のアドレスや電話番号に対して配信されるものではなく、一種の「放送」を各端末機が受信するシステムです。

対応機種であることを確認したのに届かなかったとのお問い合わせも頂いておりますが、auやソフトバンクでは緊急速報メールの「緊急地震速報」には対応しているが、今回の訓練で使用した緊急速報メールの「災害・避難情報」には対応していない機種であるケースが大半でした。詳細については各携帯電話会社にお問い合わせください。

また、対応機種であっても、機種によっては工場出荷時の設定がオフになっているものや、「アプリ」などのソフトウェアを追加しないと対応しないもの、緊急地震速報の設定画面と災害・避難情報の設定画面が別の場所にあるものなど、さまざまなものがあります。詳細については各携帯電話会社にお問い合わせください。

なお、通話中や各端末機が自動で行うデータ通信を行っている間には緊急速報メールを受信できません。対応機種2台を並べていても、片方しか受信しないケースも報告されています。

今回の訓練で、大阪880万人訓練事務局にいただいたご意見を各携帯電話会社に提供し、各携帯電話会社に対して、災害・避難情報がより多くの携帯電話端末機に届くよう、改善を要望していきます。

私の携帯電話にメールが届くようにするのは、どうしたらいいか

緊急速報メールの「災害・避難情報」を受信できない方への対策として、おおさか防災情報メールに登録していただくと、大阪府内の避難情報や気象情報などがeメールで受信できるサービスがご利用いただけます。

なお、緊急速報メールの「災害・避難情報」に対応していないスマートフォンについて

は、機種によっては提供できないものもありますが、順次「アプリ」を提供予定と各携帯電話会社から聞いています。詳細については各携帯電話会社のホームページ等をご確認ください。

新聞で読んだことと違うが

今回の訓練では、対応していない携帯電話があることについて、ホームページやリーフレットなどでPRしていましたが、話題性の大きいマナーモードでも携帯電話が鳴動するという事が強調された報道となりました。

大阪880万人訓練事務局として、対応していない携帯電話があることについての周知が十分でなかったと反省しており、来年の訓練に向けて改善してまいります。



携帯電話の鳴動率について

訓練後に実施した訓練メールの受信率について、各事務局で調査した結果、大阪府34%、堺市41%、大阪市43%であった。ウェザーニューズアンケートの結果、当日合図を携帯電話から得た割合が34%であったことなどから推定すると、少なくとも34%の携帯電話が訓練メールを受信できたのではないかと推定され、携帯電話会社3社による事前予測の40%に近い鳴動率が確認できた。また、大阪府事務局調査分について、設定の確認を行ったところ、受信できたはずなのに受信しなかったものは確認できなかった。

平成 24 年度大阪 880 万人訓練結果一覧表

項目	評価できる点	課題	対応策等
全体	初年度で注目されマスコミに多数 取り上げられたので 880 万人訓 練の存在は PR できた	○日程決定等が遅く、市町村等への年間計 画等への反映・連動訓練の対応が難し かった。	○日程を早期に決定して年間計画に反映 ○連動訓練の内容・重点項目を早期に決定して市町村に依頼
行動	○事前に災害への備えを確認した 人が 20%以上もいた。 ○当日行動した人が 13%いた。	○何らかの行動をした人を増やす	○市町村や関係団体と共に、会議、イベント等あらゆる機会を通 じて啓発。 ○マスコミ、ポスター、リーフレット等で啓発。
情報 伝達	○携帯電話の緊急速報メールを受 信した人が 35%あり、緊急速報 メール機能があることを知っても らえた	○携帯の機種によって緊急速報メールを受 信できない ○緊急地震速報と災害・避難情報の違いに ついての認知度が低い	○災害情報を得る手段を複数確保するよう PR 防災情報メールを配信 ○携帯電話会社にスマホのアプリ拡大要請、対応・アプリ必要・ 設定必要機種の分かりやすい表記を要請。
連動 訓練	○学校・自治会等で各種防災訓練 が実施された ○市町村総合防災・職員訓練実施 が実施された	○学校・自治会等で各種防災訓練の実施数 を増やす ○市町村総合防災・職員訓練の実施数を増 やす	○防災教育を推進するため学校での各種防災訓練を強化 ○市町村防災訓練・職員防災訓練等連動実施を市町村に働きかけ ○各消防本部から法定消防訓練の実施日を合わせるよう指導し てもらう
広報	○ツイッターとブログの広報効果 が高い事がわかった ○事前浸透率は 82%（口コミ 2 5%、テレビ 21%）	○ツイッターとブログに掲載してもらう ○予算を使わない範囲での広報	○ネットニュースに掲載されやすい方法を研究する ○来年度はマスコミの注目少なくなるので地道な広報が必要で、 ポスター・リーフレットのスポンサーを募る
日程	○防災週間でマスコミ多数 ○平日は学校との連動訓練可	○平日は自主防・自治会との連動は難しい ○暑い時期に避難訓練実施	○今年と同じく防災週間最後の平日（平成 25 年 9 月 5 日（木） 11:00）
他		○府 HP にアクセスしにくい	○IT 推進課で府 HP の強化検討。大阪防災ネット活用検討

各団体の取り組み状況

大阪府庁内各部取り組み状況

部局・所属名	取り組み内容
政策企画部	身を守る等の行動の実施
政策企画部(危機管理室)	身を守る行動・災害対策本部立ち上げ訓練
総務部	身を守る等の行動の実施
総務部(庁舎管理課)	守衛による救助訓練の実施
府民文化部	身を守る等の行動の実施
福祉部	身を守る等の行動の実施
健康医療部	身を守る等の行動の実施
商工労働部	身を守る等の行動の実施
環境農林水産部	身を守る等の行動の実施
都市整備部	震災対策訓練実施
住宅まちづくり部	身を守る等の行動の実施
会計局	身を守る等の行動・職員避難訓練の実施
議会事務局	身を守る等の行動の実施
教育委員会事務局	身を守る等の行動の実施

市町村の取り組み状況

項目	部局・所属名	取り組み内容
市町村庁舎内での訓練	大阪市	・防災行政無線による放送・全消防署訓練参加・交通局周知放送・市内全地下街訓練放送・南港南中学校幼稚園、福祉会館との合同訓練、V-LOW実証実験・FMキタ事前周知放送、訓練放送実施
	堺市	・防災行政無線による放送・庁内放送・本会議中のため、議場での訓練・危機管理センター各区災害対策本部との情報伝達訓練・各局初動対応訓練・東区中学校体育館(白鷺校区は小学校)5会場において、避難所開設訓練、被害状況確認訓練
	岸和田市	・庁内放送・本庁舎において、避難訓練・市立公民館、総合体育館、市民センターとの間で防災行政無線による情報伝達訓練・テレビ岸和田の行政情報番組による事前周知
	豊中市	・市施設等でも周知・庁内放送等
	池田市	・庁内放送等
	吹田市	・吹田市地域防災総合訓練 日時:9月5日(水)午前10時~正午 場所:千里北公園 蓮間池東部 訓練会場にて、広報車から880万人訓練の実施及びメール鳴動を紹介・吹田市庁舎内において身を守る行動を促す庁内放送
	泉大津市	・庁内放送
	貝塚市	・当日に庁内放送予定・当日、市役所内職員対象訓練を予定
	守口市	・当日、庁内放送
枚方市	・当日11時前に庁内放送・防災行政無線で880万人訓練	

		の実施を放送・職員、来庁者を対象とした訓練を検討中・大阪府職員を招いた地域住民向けの説明会
	茨木市	・当日11時前後に庁内放送にて880万人訓練の実施及びメール鳴動を放送・一部所管施設において避難訓練等実施・本庁舎において避難誘導訓練(市民は参加しない)
	八尾市	・戸別受信機を対象とした情報伝達訓練(防災行政無線による放送、衛星携帯電話)・避難訓練等・防災展
	泉佐野市	・事前に庁内メール、当日は庁内放送
	富田林市	・庁内放送 ・職員参集訓練
	寝屋川市	・庁内放送
	河内長野市	・庁内放送
	松原市	・庁内放送 ・市役所内グループウェア新着情報に投稿(市役所前職員が閲覧可能なシステム)
	和泉市	・庁内放送・来庁者、市職員避難訓練・火災発生に伴う初期消火訓練・停電に伴い非常発電機を稼働さず電源確保訓練
	摂津市	・庁内放送・職員安否確認
	東大阪市	・防災行政無線による放送・庁内電光掲示板での周知・庁内放送
	箕面市	・庁内放送
	柏原市	・柏原羽曳野藤井寺消防組合と協働で職員訓練
	泉南市	・庁内各部署での職員訓練行動・庁内放送・防災行政無線による放送
	四條畷市	・庁内放送・防災行政無線による放送・職員、来庁者を対象とした訓練
	交野市	・庁内放送
	大坂狭山市	・庁内放送
	阪南市	・庁内放送を検討中
	島本町	・9月5日は議会開催中のため、議場において訓練実施及びメール鳴動を情報提供
	豊能町	・町役場で避難点呼訓練を検討中(出先含む)
	能勢町	・庁内放送 ・職員非常参集訓練 ・消防団情報伝達訓練の実施予定
	忠岡町	・庁内放送・来庁者・町職員避難訓練
	熊取町	・事前に庁内メール、当日庁内放送
	田尻町	・当日広報車で周知
	岬町	・庁内放送と併せ職員、来庁者を対象とした訓練を予定
	太子町	・防災行政無線戸別受信機による放送(前日20時・当日11時)・庁内放送(当日11時)
	河南町	・庁内放送9月5日10時50分9月5日来庁者・町職員避難訓練・自主防災組織と情報伝達訓練
	千早赤阪村	・消防用サイレンでの周知
自治会・自主防災	大阪市東淀川区	・全域で避難訓練等を実施
	堺市東区	・5会場で避難所開設訓練

組織等	豊中市新千里南町(南丘小学校区)	・災害時帰宅困難者想定訓練
	河内長野市長野地区 (長野地区町会連合会自主防災組織)	・一時避難所への避難訓練 ・安否表示(自宅に黄色いハンカチ)
	和泉市いずみ緑ヶ丘	・青パトにより、自治会内の被害状況確認訓練を実施
	河南町大宝地区	・災害対策本部解説訓練、被害情報収集訓練、伝達訓練、避難所特例開設訓練
教育関連 施設での 訓練	大阪市立学校・園	・避難訓練を実施
	堺市立全保育所	・避難訓練を実施
	堺市立小中学校・幼稚園	・避難訓練などを実施
	泉大津市内保育所・幼稚園・小中学校	・避難訓練を実施
	茨木市立の全幼稚園・小・中学校	・避難訓練などを実施(幼稚園13、小学校32、中学校14)
	私立いぶきの保育園(和泉市)	・避難訓練を実施
	私立門真めぐみ幼稚園	・避難訓練を実施
	市立図書館(門真市)	・避難訓練を実施
	私立羽衣学園中学・高校(高石市)	・机の下に身を隠し安全を確保するなどの初期対応訓練を実施
	四條畷市立おかやま幼稚園	・避難訓練を実施
	四條畷小・忍ヶ丘小・四條畷中	・地域住民と連携した避難訓練
	豊能町立小中学校	・校長会で訓練検討
	千早赤坂村村立千早小吹台小学校	・サイレンに合わせ身を守る訓練
大阪電気通信大学(寝屋川市)	・職員及び一部学生による身を守る行動、避難訓練の実施	
広報	大阪市・堺市・岸和田市・豊中市・池田市・吹田市・泉大津市・高槻市・貝塚市・守口市・枚方市・茨木市・八尾市・泉佐野市・富田林市・寝屋川市・河内長野市・松原市・大東市・和泉市・箕面市・柏原市・羽曳野市・門真市・摂津市・高石市・藤井寺市・東大阪市・泉南市・四條畷市・交野市・大阪狭山市・阪南市・島本町・能勢町・豊能町・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町・太子町・河南町・千早赤坂村	広報誌・ホームページ・ポスター・リーフレット配布など

各種団体

団体名	場所	取組み内容
特定非営利活動法人野と森の遊び文化協会	万博記念公園 総合案内所付近の広場	身を守る等の行動の実施。減災技術実践体験ワークショップ(1)搬送法体験コーナー(2)心肺蘇生法体験コーナー(3)包帯法体験コーナー(4)災害に強いバイオディーゼル燃料啓発コーナー(5)その他
阪急百貨店	千里店	パネル展・啓発コーナー
(株)永木精機	東大阪市	地震発生時の社内マニュアルを作成し、これに基づく初動訓練(自らの身を守る、生産ラインの一時停止等)の実施
(福)水平会	泉佐野市	避難訓練等を実施
近畿中部防衛局	施設内	(1)机の下に身を隠すなど安全を確保する初期対応訓練 (2)本部設営訓練 (3)地方施設整備調査チーム派遣訓練

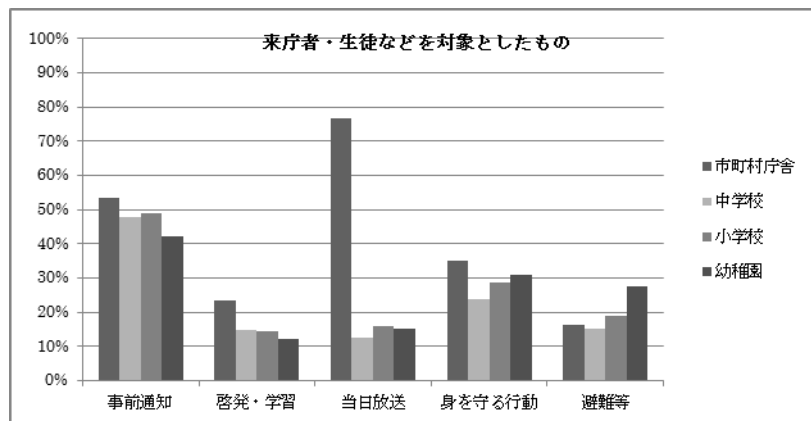
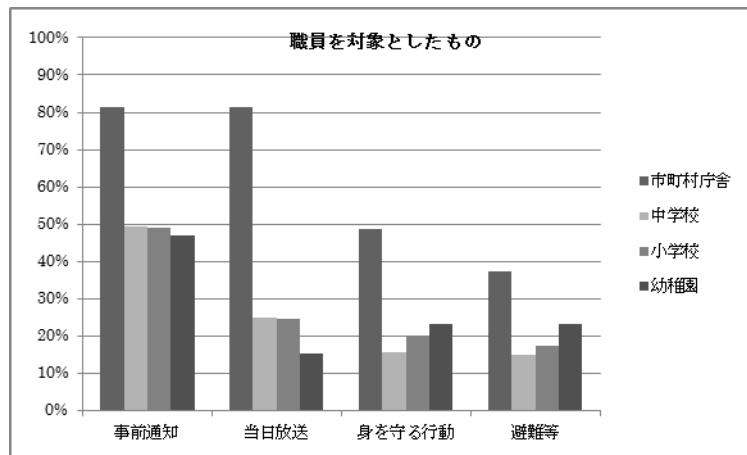
大阪880万人訓練

実施状況調査（衛星市）

※学校数については、実施校数未把握の自治体分を除く

市町村名										
広報誌掲載	(有・無)	40	全自治体							
ホームページ掲載	(有・無)	35								
同報系屋外スピーカー放送	(有・無)	10	(四條畷・大東・枚方・八尾・太子・河南・千早・貝塚・泉南・岸和田)							
施設名	全施設数	職員を対象としたもの				来庁者・生徒等を対象としたもの				
		事前通知	当日放送	身を守る行動	避難等	事前通知	啓発・学習	当日放送	身を守る行動	避難等
市町村庁舎	43	35	35	21	16	23	10	33	15	7
中学校	274	135	68	43	41	131	40	34	65	41
小学校	579	283	143	117	101	283	83	91	166	109
幼稚園	259	122	40	60	60	109	31	39	80	71

	事前通知	当日放送	身を守る行動	避難等		事前通知	啓発・学習	当日放送	身を守る行動	避難等
市町村庁舎	81%	81%	49%	37%	市町村庁舎	53%	23%	77%	35%	16%
中学校	49%	25%	16%	15%	中学校	48%	15%	12%	24%	15%
小学校	49%	25%	20%	17%	小学校	49%	14%	16%	29%	19%
幼稚園	47%	15%	23%	23%	幼稚園	42%	12%	15%	31%	27%



平成24年度大阪880万人訓練にかかる鉄道各社による駅構内・車内アナウンス状況

鉄道会社名	ポ ス タ ー 掲 示		アナウンス				その他
			実施の有無	期間	時間帯・回数など	区間等	
大阪市交通局	○	駅構内	○	8/22~9/5	9/4までは自動放送・当日は駅職員によるアナウンス	全駅	訓練終了後謝辞の放送
		車内	○	8/30~9/5	訓練開始10分前まで		
		バス	○	9/5	始発~訓練開始		
西日本旅客鉄道(株)	○	駅構内	○	9/5当日のみ	朝のラッシュ後~11時・複数回		
		車内	○				
京阪電気鉄道(株)	○	駅構内	○	9/1~9/5	7~12時、17~20時(9/5は7~11時)15分間隔	9/4までは全駅	訓練当日は別途アナウンス有
		車内	○	9/1~9/4	10~16時	京都方面行きは京橋から・大坂方面行きは京橋到着前から	訓練当日は別途アナウンス有
阪堺電気鉄道(株)	○	駅構内	×				ワンマン運転のためアナウンスは難しいとのこと
		車内					
阪神電気鉄道(株)	○	駅構内	○	8/24~9/5	終日	武庫川以東各駅 上りは尼崎発後、下りは梅田発後、西九条駅到着後	
		車内	○				
水間鉄道(株)	○	駅構内	○	9/5	朝ラッシュ時・11時前後 駅アテンダントによるアナウンス	貝塚駅・水間観音駅	
		車内	×				
南海電気鉄道(株)	○	駅構内	○	8/29~9/4	終日・ランダム	大阪府内各駅	9/5当日 別放送
		車内	○	8/29~9/4	終日・ランダム		9/5 11時直前車内アナウンス有
		その他					なんば CITY・なんばパークス施設内において9/5 11時直前に注意喚起アナウンス
大阪府都市開発(株)	○	駅構内	○	8/29~9/5	適宜・9/5訓練開始10分前まで		駅員・乗務員によるアナウンス
		車内	○				
北大阪急行電鉄(株)	○	駅構内	○	8/16~9/5	ランダムにテロップ掲示		当日訓練開始時間にも放送有。
		駅構内テロップ		8/29~9/4			
		車内	×				
阪急電鉄(株)	○	駅構内	○	9/5	9時~10時30分、直前放送10時30~59分	大阪府内の定められた区間	大阪府内各駅で実施するよう指示
		車内	○	9/3~4	予告放送 9~12時		
				9/5	当日放送 9時~10時30分		
大阪高速鉄道(株)	○	駅構内	○	8/20~9/4	9~12時 7分間隔	柴原~少路、沢良宜~摂津、公園東口~阪大病院前(下りのみ)、豊川~阪大病院前(上りのみ)	
		車内	○	8/17~9/4			
近畿日本鉄道(株)	○	駅構内	○	9/5	10~11時	大阪府内の放送設備のある駅 大阪線・奈良線・南大阪線の大阪府内走行時	駅員・乗務員によるアナウンス
		車内	○				

大阪880万人訓練アンケート結果（ウェザーニューズ）

ウェザーニューズ

n= 1,749

Q1	性別		
A1	男性	56.0%	979
A2	女性	42.8%	749
未回答		1.2%	21
Q2	年齢		
A1	10歳未満	2.5%	44
A2	10代	10.5%	183
A3	20代	24.8%	433
A4	30代	33.8%	592
A5	40代	21.7%	380
A6	50代	4.3%	75
A7	60台	0.7%	13
A8	70歳以上	0.0%	0
未回答		1.7%	29
Q3	この訓練があることをどこで知りましたか。（複）		
A1	知らなかった	7.7%	135
A2	広報誌	16.4%	287
A3	ポスター	13.7%	240
A4	車内広告	14.4%	252
A5	ホームページ	17.2%	301
A6	口コミ	24.8%	434
A7	テレビ	21.1%	369
A8	ラジオ	6.5%	113
A9	その他	38.5%	674
未回答		0.7%	12
Q5	訓練には団体で参加されましたか、個人で参加されましたか		
A1	参加していない	29.7%	519
A2	個人で参加	23.2%	406
A3	家族で参加	1.2%	21
A4	友人・知人と参加	0.4%	7
A5	自治会で参加	0.5%	8
A6	学校で参加	4.5%	79
A7	企業で参加	26.0%	455
A8	その他	8.3%	146
未回答		6.2%	108

Q6	当日訓練開始をどうやって知りましたか(複)		
A1	知らなかった	18.4%	321
A2	携帯電話	34.0%	595
A3	屋外スピーカー	5.4%	94
A4	館内放送	21.0%	367
A5	車内放送	2.7%	47
A6	ラジオ	1.9%	34
A7	その他	19.9%	348
未回答		5.8%	101
Q7	エリアメール・緊急速報メールによる緊急地震速報を知っていますか。		
A1	知らない	8.7%	152
A2	この訓練で初めて知った	30.6%	536
A3	訓練前から知っていた	59.3%	1038
未回答		1.3%	23
Q8	緊急地震速報は海溝型地震の場合、大阪では実際に揺れ始める数秒～数十秒前に鳴ることを知っていますか。		
A1	知らない	33.6%	588
A2	この訓練で初めて知った	17.0%	298
A3	訓練前から知っている	48.0%	839
未回答		1.4%	24
Q9	訓練開始時にどのような事をしましたか		
A1	何もしなかった	44.4%	776
A2	地震が起こった時の事を考えてみた	26.9%	471
A3	身の安全を図った	14.2%	249
A4	がけやブロック塀から離れた	0.1%	2
A5	建物から出た	2.6%	46
A6	その他	9.3%	162
未回答		2.5%	43
Q10	この訓練に併せて避難訓練などに参加しましたか		
A1	特に何もしていない	74.0%	1295
A2	避難訓練に参加した	10.9%	190
A3	防災研修に参加した	0.9%	16
A4	情報伝達訓練に参加した	5.7%	99
A5	消火訓練に参加した	0.3%	6
A6	その他	6.2%	108
未回答		2.0%	35
Q11	この訓練を知る前から災害に備えていたことはありますか(複)		
A1	建物の耐震性の確認	23.1%	404
A2	地域の振動想定地盤の状況	12.0%	210

A3	家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認	31.3%	547
A4	備蓄物資の確認	36.2%	634
A5	「まずは身を守る」の確認	36.7%	642
A6	「あわてて帰宅しない」ための確認	8.9%	155
A7	帰宅ルートの確認	20.6%	360
A8	最寄り避難所の確認	31.8%	556
A9	家族会議の開催	15.3%	268
A10	災害用伝言ダイヤル使用方法の確認	15.9%	278
A11	その他	10.7%	187
未回答		8.1%	141
Q12	最近どのような確認をしましたか。訓練をきっかけにして確認したことをお聞かせください。(複)		
A1	建物の耐震性の確認	12.9%	226
A2	地域の振動想定地盤の状況	9.1%	160
A3	家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認	15.0%	263
A4	備蓄物資の確認	25.9%	453
A5	「まずは身を守る」の確認	26.0%	455
A6	「あわてて帰宅しない」ための確認	5.7%	99
A7	帰宅ルートの確認	13.0%	227
A8	最寄り避難所の確認	20.4%	357
A9	家族会議の開催	13.6%	238
A10	災害用伝言ダイヤル使用方法の確認	12.2%	213
A11	その他	14.8%	259
未回答		16.2%	283

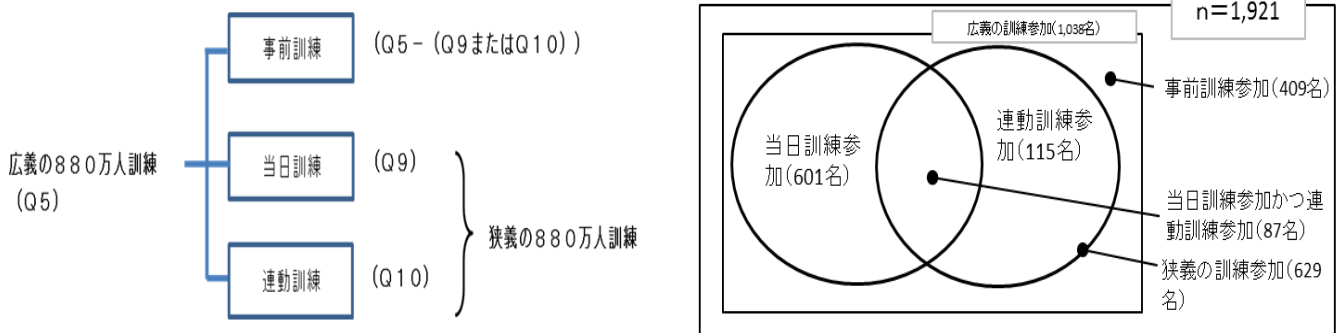
おおさかQ ネット 「大阪880万人訓練」に関するアンケート 概要

- 実施期間 平成 24 年 9 月 5 日（水）から平成 24 年 9 月 10 日（月）
- 回答者数 1,921 名/2,471 名 （回答率：77.7%）

		年代								合計
		10 歳未満	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	
性別	男性	0 0.0%	3 0.4%	21 2.7%	80 10.5%	153 20.0%	131 17.1%	244 31.9%	132 17.3%	764 100.0%
	女性	0 0.0%	1 0.1%	68 5.9%	337 29.1%	410 35.4%	168 14.5%	134 11.6%	39 3.4%	1,157 100.0%
合計		0 0.0%	4 0.2%	89 4.6%	417 21.7%	563 29.3%	299 15.6%	378 19.7%	171 8.9%	1,921 100.0%

1. 事前浸透率
1,921（回答者数）－347（Q3の「知らなかった」）＝1,574（81.9%）
2. 訓練開始合図覚知率
1,921（回答者数）－1,002（Q6の「知らなかった」）＝919（47.8%）

3. Qネットアンケート回答者の訓練参加率



- (1) 当日訓練（考えてみた十何らかの行動をした）
1,921（回答者数）－1,320（Q9の「何もしなかった」）＝601（31.3%）
- (2) 連動訓練
1,921（回答者数）－1,806（Q10の「特に何もしていない」）＝115（6.0%）
- (3) 狭義の訓練参加率（当日訓練または連動訓練参加者）
601（当日訓練参加）＋115（連動訓練参加）－87（当日訓練参加かつ連動訓練参加）＝629名（32.7%）
- (4) 広義の訓練参加率（当日訓練、連動訓練、事前訓練のいずれかの参加者）
1,921（回答者数）－883（Q5の「参加していない」）＝1,038（54.0%）
- (5) 事前訓練
1,038（広義の880万人訓練参加）－629（狭義の880万人訓練参加）＝409（21.3%）

4. 府民全体の推計参加率

Qネットモニターの回答を性別・年代別に大阪府の人口構成と一致するように補正し、全府民の訓練参加率を推計した。なお、推計にあたっては、Qネットアンケートのサンプル数が少ない20歳未満層は推計の対象としなかった。

	Qネット回答者の参加率	府民全体の推計参加率
(1) 広義の訓練参加率	54.0%	52.2%
(2) 狭義の訓練参加率	32.7%	31.7%
(3) 事前訓練	21.3%	20.5%
(4) 当日訓練	31.3%	30.1%
(5) 連動訓練	6.0%	6.3%

おおさかQネット「大阪880万人訓練」に関するアンケート 単純集計

※ 下記データは、回答に論理矛盾等があるものについて所要のデータ整理を行った後のものである。

Q1 性別【必須】	回答者数	1,921	
	男性	764	39.8%
	女性	1,157	60.2%
Q2 年齢【必須】	回答者数	1,921	
	10歳未満	0	0.0%
	10代	4	0.2%
	20代	89	4.6%
	30代	417	21.7%
	40代	563	29.3%
	50代	299	15.6%
	60代	378	19.7%
	70歳以上	171	8.9%
Q3 この訓練があることをどこで知りましたか。(複数回答あり)【必須】	回答者数	1,921	
	知らなかった	347	18.1%
	広報誌	455	23.7%
	ポスター	185	9.6%
	車内放送	134	7.0%
	ホームページ	184	9.6%
	口コミ	248	12.9%
	テレビ	761	39.6%
	ラジオ	177	9.2%
その他	344	17.9%	
Q4 どこで訓練に参加されましたか。(市区町村) (訓練に参加されていない方は、この設問を飛ばし、次の設問にお進みください。)	回答者数	365	
Q5 訓練には、団体で参加されましたか。個人で参加されましたか。【必須】	回答者数	1,921	
	参加していない	883	46.0%
	個人で参加	464	24.2%
	家族で参加	19	1.0%
	友人・知人と参加	2	0.1%
	自治会で参加	8	0.4%
	学校で参加	20	1.0%
	企業で参加	67	3.5%
	その他	458	23.8%
Q6 当日、訓練開始をどうやって知りましたか。(複数回答あり)【必須】	回答者数	1,921	
	知らなかった	1,002	52.2%
	携帯電話	495	25.8%
	屋外スピーカー	143	7.4%
	館内放送	101	5.3%
	車内放送	27	1.4%
	ラジオ	65	3.4%
	その他	182	9.5%
Q7 エリアメール/緊急速報メールによる緊急地震速報を知っていますか。【必須】	回答者数	1,921	
	知らない	473	24.6%
	この訓練で初めて知った	560	29.2%
	訓練前から知っている	888	46.2%
Q8 緊急地震速報は、海溝型地震の場合、大阪では実際に揺れ始める数秒～数十秒前に鳴ることを知っていますか。【必須】	回答者数	1,921	
	知らない	951	49.5%
	この訓練で初めて知った	306	15.9%
Q9 訓練開始時にどのような事をしましたか。	回答者数	1,921	
	何もなかった	1,320	68.7%
	地震が起こった時のことを考えてみた	358	18.6%
	身の安全を図った	54	2.8%
	崖やブロック塀から離れた	3	0.2%
	建物から出た	9	0.5%
その他	177	9.2%	
Q10 この訓練に併せて、避難訓練などに参加しましたか。	回答者数	1,921	
	特に何もしていない	1,806	94.0%

	避難訓練に参加した	44	2.3%
	防災研修に参加した	15	0.8%
	情報伝達訓練に参加した	13	0.7%
	消火訓練に参加した	6	0.3%
	その他	37	1.9%
Q11 この訓練を知る前から、災害に備えていたことはありますか。(複数回答あり)【必須】	回答者数	1,921	
	建物の耐震性の確認	420	21.9%
	地域の振動想定、地盤の状況	207	10.8%
	家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認	648	33.7%
	備蓄物資の確認	717	37.3%
	「まずは身を守る」の確認	803	41.8%
	「あわてて帰宅しない」ための確認	145	7.5%
	帰宅ルートの確認	286	14.9%
	最寄り避難所の確認	766	39.9%
	家族会議の開催	361	18.8%
	災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認	261	13.6%
	その他	106	5.5%
	Q12 最近、どのような確認をしましたか。訓練をきっかけにして確認したことをお聞かせください。(複数回答あり)(訓練に参加されていない方は、この設問を飛ばし、次の設問にお進みください。)	回答者数	811
建物の耐震性の確認		104	5.4%
地域の振動想定、地盤の状況		66	3.4%
家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認		149	7.8%
備蓄物資の確認		289	15.0%
「まずは身を守る」の確認		272	14.2%
「あわてて帰宅しない」ための確認		71	3.7%
帰宅ルートの確認		108	5.6%
最寄り避難所の確認		241	12.5%
家族会議の開催		119	6.2%
災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認		97	5.0%
その他		47	2.4%
Q13 大阪880万人訓練について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。		回答者数	1,240